



反省しない奴  
は同じことを  
くり返す！

弁天三丁目の片隅にある威張り地蔵尊（写真）に目が止まりました。門の前の看板に書かれた文字は「戦災死者慰霊碑」。敗戦の年に、港区一帯、いや大阪全域が大空襲で廃墟と化しました。この史実さえ知らない若い人もいます。また知っているても実感が伴わないこともあります。

死を悼んだことを教えてくれました。そして普段の暮らしの中で忘れていくことゝいま立っているコンクリートの下に、名も知れず斃れていった人々（沢山の子どもや赤ちゃんも）の焼け焦げた肉や骨が土となって埋まっている。そんな想像をかきたてました。

感じるこの頃です。それにしても「空襲」というコトバ、考えてみればクセ者です。実は「米軍の無差別空爆による民間人大量虐殺と壊滅的破壊」でした。なのに爆弾を落とした主体も、被害の惨状も見えなくしてしまふように感じます。ちなみに今も中東で続く同じ行為は空爆、時に無差別空爆と表現されます。空襲は国が始めた戦争の結末でしたが犠牲に対する責任を誰も問われず賠償も一切ありません。二〇〇七年東京で、〇八年大阪で、初めて国の責任を糺す裁判がおこされ

ました。が裁判所は「国民の受忍限度」と切って捨てました。黒焦げになつて殺されても一生涯消えない障害を負っても家を焼け出されても「国民は耐え忍んで当然」だと。これが国の「国民」に対する変わらぬ認識なんですね。そんな反省無き連中が「国民の命を守る」とくり返す：あなたは信じますか？アベは同じことをくり返そうとしています。退陣に追い込むしかないですよね！



組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！